



令和4年 9月29日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

「手でみるミレー レリーフ版」

～山梨大学・山梨県立大学から山梨県立美術館へ寄贈・ボランティア研修について～

山梨大学教育学部の武末裕子准教授(代表)・山梨県立大学人間福祉学部古屋祥子准教授らが、日本学術振興会科研費の助成を受け5年間かけて、イタリアの美術館と研究協力で作成した「手でみるミレー レリーフ版」を山梨県立美術館へ寄贈・公開いたします。

つきましては、下記のとおり行いますので、取材方よろしくお願いたします。

記

日時:9月30日(金)10時～12時

会場:山梨県立美術館 ワークショップルーム (〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27)

内容:レリーフ寄贈・ボランティア研修(鑑賞実演)

※ボランティア研修の中で、鑑賞実演(公開)を行います。

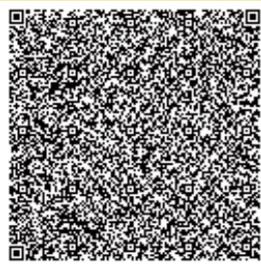
<本件についての問い合わせ先>
山梨大学教育学部教育実践創成講座
准教授・武末 裕子
E-mail: htakesue@yamanashi.ac.jp

<広報についての問い合わせ先>
山梨大学企画部広報企画課
TEL:055-220-8005, 8006
FAX:055-220-8799
E-mail: koho@yamanashi.ac.jp



絵画原画文字情報

QRコードリーダー
で読み取れます。



レリーフ鑑賞手順文字情報



手でみるミレー レリーフ版

原画情報

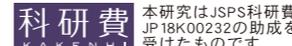
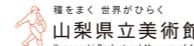
作品名 **種をまく人**
作者 **ジャン＝フランソワ・ミレー**
制作年 **1850年** 素材 **油彩・麻布** サイズ **99.7×80.0cm**
レリーフ制作 **アンテロス美術館(イタリア)**

美術にはたくさんの鑑賞の糸口があります。

本教材は、手で触れて鑑賞することで、絵画についての考えを深めることを目的に制作した、山梨県立美術館を代表するコレクションの一つである《種をまく人》のレリーフ版です。

この完成には、2015年から7年間にわたる『手でみるプロジェクト』の「触覚による鑑賞」と「彫刻的な視点」を軸にした調査・連携がありました。絵画の選定は日本で始まり、ロレッタ・セッキさんをはじめとするアンテロス美術館の鑑賞研究や彫刻家たちの尽力により、日伊の絵画・レリーフへの相互理解を深め、両国の視覚に障がいのある方の協力検証を重ねることで、この度日本で公開するに至りました。一枚の絵画の多様な鑑賞法の可能性について、一緒に考えてみましょう。

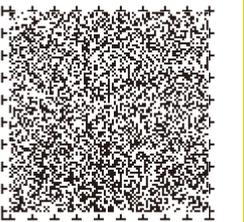
共同研究：山梨大学教育学部 武末 裕子研究室・山梨県立大学 古屋 祥子研究室・アンテロス美術館・山梨県立美術館・手と目でみる教材ライブラリー 大内 進
協力：社会福祉法人 山梨ライトハウス



本研究はJSPS科研費
JP18K00232の助成を
受けたものです。



教材メイキング動画情報
(約15分)



Uni-Voice専用アプリで読み取ると
音声でこのパネル内容が
読み取れます。